



目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当	
				学部・塾	内容					
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業後に円滑な就農ができるよう、基本知識・技術の習得はもちろん、先進技術の習得、資格取得等が必要である。</li> <li>●農業技術検定の講座は後期からであるが、前期の各専攻、学科の講義内での対策も必要である。</li> <li>●教職員の専門性や指導力の向上が必要である。</li> <li>●水田等への土地利用型作物の拡大、みどりの食料システム戦略等の施策に対応した実習が必要である。</li> <li>●ICTやロボット技術、ドローン活用等、スマート農業を取り入れた実習が求められている。</li> <li>●施設、設備、備品の更新や修繕を着実に実施するため、計画的かつ効果的な予算の確保が必要である。</li> <li>●オンライン授業について、様々な場面での活用を念頭に、同時双方向型授業に向けた問題点の検証、模擬授業の実施等、着実な環境整備が必要である。</li> <li>●実習等の教育現場では、農作業事故や熱中症等への最大限のリスク管理が必要である。</li> <li>●「いちご学科」について、引き続きカリキュラム構成及び内容に関する検証や改善、農業振興事務所や受入先農家等との円滑な連携に取り組む必要がある</li> <li>●とちぎ農業未来塾では、基本技術に加え、新技術に対応した施設整備及び指導力の強化が必要である。</li> </ul>	スマート農業に接する学生の割合 100%	(3)主権者教育の充実		○土地利用型園芸技術の習得 ・たまねぎ、ねぎの機械化一貫体系利用実習の実施					教務部会	
				○経営管理能力の習得 ・校外学習や経営特別講座による先進事例調査・講義の実施					教務部会	
			生産学部	○学生寮生活を通しての教育 ・共同生活を通じた生活習慣、社会生活マナーの養成				学生部会		
				○販売学習機会の充実 ・各種イベントや校外の一般店舗における販売促進活動の実施				企画情報部会		
				○社会生活講座・経営特別講座の充実				教務部会		
			(4)時代に応じた社会人研修の充実	未来塾	○とちぎ農業未来塾の講義内容・講師等の検討 ・とちぎグリーン農業推進方針に対応する有機農業講座の開催			未来塾担当		
	(5)授業・研修のオンライン、デジタル化	生産学部 経営学部 研修科	○PC等を活用したペーパーレス講義の実施						教務部会 水田農業担当 企画情報部会	
			○オンラインを活用した講義による授業運営の効率化 ・キャリアアップ研修の開催 ・実習ほ場のオンライン環境の整備							
	(6)校内環境の整備・リスク管理の徹底	生産学部 経営学部 未来塾	○学校施設・設備の維持管理 ・施設・設備の破損状況等の把握と計画的・効率的な修繕・改修							企画情報部会 学生部会
			○施設・教育現場でのリスク対応点検の継続実施 ・ヒヤリハット事例の情報収集と対策の実施 ・ヘルメット着用等の安全作業行動の徹底 ・熱中症対策の徹底							
			○環境美化の励行 ・環境美化通信の定期発行による意識啓発 ・分担区域の定期的な環境整備の実施							
			○個人情報の適正管理 ・記録媒体や資料の持ち出し厳禁等、情報漏洩防止対策の徹底							学生課